



## 2020年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年9月12日

上場会社名 株式会社 銚子丸 上場取引所 東  
 コード番号 3075 URL <http://www.choushimaru.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 満  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 仁科 善生 TEL 043-350-1266  
 四半期報告書提出予定日 2019年9月26日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年5月期第1四半期の業績 (2019年5月16日～2019年8月15日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第1四半期	4,914	3.8	219	6.9	235	7.0	117	△8.9
2019年5月期第1四半期	4,732	2.5	205	△1.3	220	△1.5	128	△11.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第1四半期	8.59	8.59
2019年5月期第1四半期	9.46	—

(注) 当社は、2018年11月16日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期第1四半期	10,178	6,694	65.8	489.71
2019年5月期	9,970	6,658	66.8	487.08

(参考) 自己資本 2020年5月期第1四半期 6,693百万円 2019年5月期 6,657百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2020年5月期	—	—	—	—	—
2020年5月期 (予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年5月期の業績予想 (2019年5月16日～2020年5月15日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	9,650	4.6	205	△8.7	222	△8.5	150	12.8	11.00
通期	19,900	3.0	728	△22.3	751	△23.4	506	0.2	37.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.6「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年5月期1Q	14,518,000株	2019年5月期	14,518,000株
② 期末自己株式数	2020年5月期1Q	848,710株	2019年5月期	848,710株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年5月期1Q	13,669,290株	2019年5月期1Q	13,640,600株

(注) 当社は、2018年11月16日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数 (普通株式) を記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国の経済は、個人消費や雇用・所得環境の改善を背景として緩やかな回復基調で推移したものの、米国の保護主義的な通商政策による世界的な貿易摩擦及び英国のEU離脱問題に対する先行き懸念が長引くなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましても、消費者の節約志向に加え食材価格の高騰傾向、人手不足の深刻化と人材の確保を目的とした人件費の上昇など、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況において、当社は、良質な外食体験を通して、お客様に『生活の豊かさ』と『幸福感』を実感していただくために、「安全安心でコストパフォーマンスの高い商品の提供」「家庭的なサービスがあふれる良い雰囲気を提供」「清掃の行き届いた清潔空間の提供」に取り組み、既存顧客の来店動機高揚と新規顧客の獲得に努めてまいりました。

店舗開発につきましては、新業態「すし銚子丸 雅」でのロードサイド1号店として習志野店(千葉県船橋市)を2019年7月にオープンいたしました。この結果、当第1四半期会計期間末の店舗数は94店舗となっております。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は49億14百万円(前期比3.8%増)、営業利益は2億19百万円(同6.9%増)、経常利益2億35百万円(同7.0%増)、四半期純利益は1億17百万円(同8.9%減)となりました。

(注)金額に消費税等は含まれておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ2億7百万円増加し、101億78百万円(前事業年度末比2.1%増)となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動資産は、前事業年度末に比べ1億86百万円増加し、73億42百万円(同2.6%増)となりました。主な内訳は、現金及び預金の増加1億83百万円であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ21百万円増加し、28億35百万円(同0.7%増)となりました。これは、主に建設仮勘定の増加21百万円によるものです。

#### (負債・純資産)

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ1億71百万円増加し、34億84百万円(前事業年度末比5.2%増)となりました。主な要因は次のとおりであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ1億74百万円増加し、30億90百万円(同6.0%増)となりました。主な内訳は、短期借入金の増加2億25百万円によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ3百万円減少し、3億93百万円(同0.8%減)となりました。主な内訳はリース債務の減少3百万円であります。

純資産は、前事業年度末に比べ35百万円増加し、66億94百万円(同0.5%増)となりました。主な内訳は、利益剰余金の増加であります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、売上高199億円、営業利益7億28百万円、経常利益7億51百万円、当期純利益は5億6百万円を見込んでおり、現時点で変更はございません。

今後の見通しにつきましては、引き続き関東エリア(東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県)を重点としたロードサイドでのドミナント出店に加えて、都心部を中心に、商業施設内、駅前等の繁華街立地も視野に入れた店舗開発に取り組み、第43期(2019年5月16日から2020年5月15日まで)の新規出店数は、3店舗を計画しております。

併せて不採算店の退店により近隣店舗に再配置した人的資源の有効活用に注力し、店舗力の向上と利益体質の一層の強化を進めてまいります。

但し、当社では、新規出店に際しては店舗の採算性を重視しているため、計画した店舗数に見合った出店候補地を十分に確保できない場合や、食材に係る安全性の問題、市場変動等が生じた場合には、当社の業績見通しに影響を与える可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年5月15日)	当第1四半期会計期間 (2019年8月15日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,369,865	6,553,603
売掛金	311,742	321,973
原材料及び貯蔵品	235,778	189,073
その他	239,071	278,250
流動資産合計	7,156,457	7,342,900
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	798,333	785,646
その他(純額)	521,691	553,976
有形固定資産合計	1,320,025	1,339,622
無形固定資産	13,204	13,145
投資その他の資産		
敷金及び保証金	874,972	872,431
貸倒引当金	△1,078	△1,078
その他	607,195	611,215
投資その他の資産合計	1,481,089	1,482,568
固定資産合計	2,814,319	2,835,335
資産合計	9,970,776	10,178,236
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,229,403	1,157,187
短期借入金	108,000	333,000
資産除去債務	—	2,120
未払金	1,056,627	1,158,045
未払法人税等	266,990	86,559
賞与引当金	112,570	84,715
株主優待引当金	31,355	25,166
店舗閉鎖損失引当金	2,000	2,000
その他	109,020	241,795
流動負債合計	2,915,968	3,090,589
固定負債		
資産除去債務	202,235	202,681
その他	194,474	190,958
固定負債合計	396,710	393,640
負債合計	3,312,678	3,484,230

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年5月15日)	当第1四半期会計期間 (2019年8月15日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	315,950	315,950
資本剰余金	243,001	243,001
利益剰余金	6,821,249	6,856,707
自己株式	△722,553	△722,553
株主資本合計	6,657,648	6,693,106
新株予約権	449	899
純資産合計	6,658,098	6,694,006
負債純資産合計	9,970,776	10,178,236

（2）四半期損益計算書  
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 2018年5月16日 至 2018年8月15日）	当第1四半期累計期間 （自 2019年5月16日 至 2019年8月15日）
売上高	4,732,189	4,914,164
売上原価	1,956,844	1,984,021
売上総利益	2,775,345	2,930,142
販売費及び一般管理費	2,570,286	2,710,852
営業利益	205,058	219,289
営業外収益		
受取利息	532	455
協賛金収入	12,648	10,840
その他	3,553	5,340
営業外収益合計	16,735	16,636
営業外費用		
支払利息	347	247
現金過不足	808	217
その他	625	—
営業外費用合計	1,782	465
経常利益	220,011	235,460
特別利益		
固定資産売却益	1,407	34
特別利益合計	1,407	34
特別損失		
減損損失	24,496	52,968
特別損失合計	24,496	52,968
税引前四半期純利益	196,922	182,526
法人税等	67,932	65,053
四半期純利益	128,989	117,473

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。